

溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.359

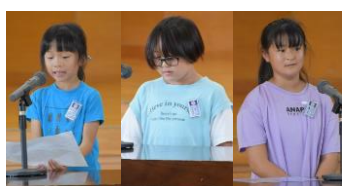
2023.7.31

発行：校長 小林 聡

学校教育目標：ふるさとだいすき かしくく つよく やさしく
～つながりの中で わたしたちが創る 楽しい学校～

1学期の成長を 自分が創る楽し

い夏休みへ



1学期70日間の最終日、68人全員が体育館に集まっての終業式では、2、4、6年生の代表児童が「たいへんだったけれど、がんばれた自分」「友だちのおかげで分かるようになった自分」「思った以上に大変で難しく、まだまだ足りない部分がたくさんあるけれども、4月より成長してきた自分」…これまでの自分を見つめ、自分の言葉でしっかりふり返ることができました。じっと耳を傾ける子どもたちの姿にも成長を感じた、いい締めくくりの日となりました。

さて、子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきました。（このお便りが届くころは、夏休み真っ最中）「つながりの中で わたしたちが創る 楽しい学校」を目標に、生き物を大事に育て、下級生の面倒をよく見、友達と励まし合いながら成長した、自然豊かな溝延・田井地区でくらす子どもたちですから、ぜひ多くの自然と多くの人々にふれ、大いに「自分が創る楽しい夏休み」にしてほしいと思います。2学期、またひとまわり成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。



くらしと授業がつながる 本物の学び

第3回授業研究会 4学年 社会科 「水害からくらしを守る」

社会科「自然災害から地域の安全を守る」学習に向けて、大沼教諭は「子どもたちが自分事としてくらしとつなげながら深めていける学びにしたい」という願いを強くもって授業を構想しました。「水害」に焦点を当てた本単元は、2年前の水害を経験した子どもたちにとって、様々な人々の苦勞や苦悩、町や地域をあげての水害に対する備え、家庭や自分にもできる備え等、くらしと授業がつながった本物の学びになりました。同じ地区の仲間と協力したタイムライン作りを通して、自分がやるべきこと、自分たちがやれることを真剣に考える姿がたくさん見られ、溝延・田井地区の未来を担う子どもたちのたくましさも感じました。

日頃から、学習の仕組みづくり、子ども同士の関係づくり、学習資料等の環境づくりに努めている担任の支えの中で、一人一人の学びが確かに進んでいくことを改めて実感した研究会でした。



本校ホームページへ
こちらからどうぞ



